

生ごみが良質肥料に大変身！



用意するもの

生ごみ



新聞紙



生ごみ処理バケツ



ボカシ

※インターネットなどで購入できます。

<手順>



生ごみ処理バケツの底に新聞紙を敷き、ボカシをまく。
※新聞紙は底板の目詰まり予防や発酵液のろ過用です。



生ごみ処理バケツによく水切りした生ごみを入れる。生ごみを入れるたび、ボカシを振りかける。
※悪臭が発生する場合は、ボカシの量が少ないことが原因と思われます。



上からギュッと押さえたら、生ごみ処理バケツのフタを締め、密閉する。
※ビニール手袋などを使うと手が汚れません。
※フタが緩いと虫が湧く可能性があります。



底に溜まった発酵液はこまめに抜き出す。
※発酵液は活性液と同等品です。500～1000倍に希釈し、肥料として早めにご使用してください。



②～④の作業を繰り返し、生ごみ処理バケツが一杯になったら、フタを密閉し、直射日光の当たらない場所で1～2週間発酵させる。



ぬか漬けのような発酵臭がすれば成功です。
※表面に生える白カビは、良い菌ですので問題はありません。

☆ポイント☆

1. 生ごみは新鮮なうちに処理しましょう。
2. 生ごみは極力ぬらさないようにしましょう。
3. 生ごみはできるだけ小さく切ってください。
4. 底にたまった発酵液はこまめに抜いてください。